

## 高砂歴史ツアー 5

高砂は、平安時代（794 ～ 1185 年）より前から、きれいな砂浜に青々と生える松林という風光明媚な海岸環境により、リラクゼーションの目的地場所として人気がありました。

高砂は日本では「結びの町」としても知られています。それは長い間、カップルや、良縁を求めて愛を探す人々の両方を魅了してきました。

過去 400 年にわたり、街並みはほとんど変わっておらず、江戸時代後期（1603 ～ 1867 年）から昭和時代（1926 ～ 1989 年）までの建物が数多く残っています。これらには、地元の実業家で発明家の工楽松右衛門（1743 ～ 1812 年）の子孫の旧邸宅が含まれます。そのほかに旧高砂市消防署庁舎や、曾根天満神社や十輪寺などの文化的建造物もあります。

### 梅ヶ枝湯

1950 年代まで高砂では住宅に備え付けの風呂は珍しいものでした。当時市内には 7 軒もの銭湯がありましたが、現在も営業しているのは梅ヶ枝湯のみです。建物の外観・内装は昭和の雰囲気を残しています。入口はモルタル造りで、奥のレンガが増築された建物は人気の写真スポットです。お風呂のお湯を沸かすために今でも薪が燃やされています。

この建物は、大正時代後期から昭和初期に建てられたもので、現在の所有者が 1943 年に購入したものです。浴場は木曜を除き、毎日営業しています（午後 3 時 30 分から午後 11 時まで）。

#### 旧高砂銀行本店（現商工会議所）

日清戦争（1894 ～ 1895 年）での日本の勝利は経済成長を引き起こしました。高砂貯蓄銀行は 1896 年に設立され、1907 年に高砂銀行に改名しました。現在の建物は 1932 年に高砂銀行本店として建設されました。この時代の古典建築の珍しい例です。1980 年に建物は高砂商工会議所の所有となりました。2017 年には国の登録有形文化財および兵庫県景観形成重要建造物に指定されました。

#### 旧高砂市消防署庁舎

1935 年に建てられた官公庁風の鉄筋コンクリート 2 階建ての建物。1 階は消防車の車庫、2 階は事務所と屋上に鉄骨の火の見櫓が設置されています。建物の南端には化粧切妻屋根の平屋交番が併設されています。

消防署は 2015 年まで高砂市消防署分署として使用されていました。その後は耐震補強が施され、浸水に備えて土のうなどの資材を保管するために使われています。

高砂の消防の歴史を伝えるため、休日には建物の 2 階が一般公開されています。国の登録有形文化財および県の重要景観建造物に指定されています。